

令和 6年度 会派調査研究報告書

(視察先 1 か所につき 1 枚)

会派名	公明党
出席者	中島美弥子
事業名	
事業区分	①研究研修②調査

1. 荳崎市での課題と研修・調査の目的

非常事態への備え、地域や住民の生活を守るために、災害現場の実践・経験知について、現場での対応にあたる当事者や経験者と共に話し合い、非常事態や様々な課題への対応、強い地域をつくるための議会について学ぶ

2. 実施概要

実施日時	2024年7月10日13：00～17：30 7月11日10：00～16：00
視察先	全国地方議会サミット2024 早稲田大学井深大記念ホール
担当部局	ローカル・マニフェスト推進連盟 早稲田大学マニフェスト研究所
報告内容	「非常事態への備え これからの議会」をテーマに、災害対応や支援のあり方、最新技術やデジタル、各地の経験をどう活かしていけるのか。非常事態への備えや様々な課題への対応、強い地域をつくる「これからの議会」のために、基調講演、災害現場の実践・経験者の報告 1.基調講演「生活を支える強い地域を議会がつくる」 早稲田大学マニフェスト研究所 顧問 北川正恭氏 1.能登半島地震被災地の議会からの報告 1熊本地震の経験と自治体間支援の現場から 1.能登半島地震と珠洲市の状況と対応 1.防災DXの最前線と今後の展開 1.災害時におけるドローン・人工衛星など最新テクノロジー活用の可能性 1.「東日本大震災の経験から」 元総務大臣 片山善博氏 2日目 「非常事態への備えと議会の対応・役割」 法政大学総長 廣瀬克哉氏 {パネルディスカッション} ・東日本大震災の経験をふまえた災害対応 ・大規模復興と議会のあり方 ・住民避難・離散と自治体・議会の活動 1.デジタル・生成AIを活かす 1.議会改革の最新トレンドとトピックス

感想（まとめ） ・市政に活かせること	元日に発生した能登半島地震について、甚大な被害を受け、今なお復興の途中で大変な中、実際現場であたっている議長や元議員から、直接話を伺う機会を得たからこそ、この経験をこれからの議会に活かしていかなければと、強く感じました。甚大な被害があった時に、行政や議会の災害対応が重要であると考えます。平時から防災・減災について、議会としてまた自身として取り組んでいくことが必要であると思いました。 特にトイレの問題は、本当に大変な事なので、早稲田大学マニフェスト研究所顧問の北川先生から、参加した議員、自治体関係、参加者などみんなで、それぞれの自治体にトイレトレーラーの導入を勧めていこうとの呼びかけがあり、本市においてもトイレトレーラーの導入に更に力を入れていこうと思いました。
	2. 考察（これらの取り組みを韮崎市にどう活かせるか） 地震はいつかではなく、地震は必ずくると危機感をもって、非常事態への備えが重要であることを、改めて学びました。また議会としてどのように復興、復旧支援をおこなうのか、平時から復興計画にも取り組むことが必要と考えます。防災DXの活用で、市民にいかに正しい情報を伝えることや、市民の声を集約する為の具体的機能を発揮できるよう、準備することも必要と考えます。また議員はオンラインで参集、現地の状況をオンライン情報共有など、行なえることも。リーダーシップの点では、防災の専門的な知識は幹部職員にあるのか、いざという時にどう指揮をとるのか、平時からの準備や訓練が重要であります。災害時のトイレの問題について、本市でもトイレトレーラーを導入することが必要であると考えます。

※写真等がある場合は添付すること